

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスPrimo		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～ 2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		～ 2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で支援、連携が取れる事	多職種がそれぞれの専門的視点から多角的に利用者の特徴を捉え、リスク管理も含め、最善の支援を検討し提供できる。	引き続き、専門職員間で連携し質の高い支援を提供していけるよう研修や会議を行います。
2	個別のニーズにも寄り添った支援が行える	利用者と家族のニーズを聞き取り、利用者の意見を尊重し、無理強ひすることなく過ごしやすい環境を整えられるよう検討しています。	年に2回の面談だけでなく、必要時に面談を行い、さらには必要時には保育所等訪問支援に繋げて、利用者と家族の思いに寄り添えるよう取り組んでいます。
3	継続した支援ができる	制度を使い、保育所等訪問支援や地域保育所移行支援など、退所後も利用者や家族が不安なく過ごせるようできる限りの支援を行います。	制度理解を深め、利用者の困り事を解決できるよう関係機関との連携を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が不十分ではある	保護者会が開催できておらず、保護者同士の交流の場が設けられていない。	イベントを通じて、保護者や兄弟児の交流が出来るよう、年に1回は開催できるよう検討いたします。
2	遠足や遠出のお出かけの活動機会が少ない	利用者のケアニーズと人員配置の状況を踏まえて、安全な外出を行うには近場の公園までの外出と留めているため。	イベントの一貫として遠足を検討し、人員や環境設定を検討する。
3	地域との交流が少ない	地域のこども園や学校との交流の場を、定期的に設けられていない。	同じビル内の民間保育園との交流を定期的に行えるよう活動の提案と環境の設定を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスPrimo

公表日 2026年 3月 6日

利用児童数

32

回収数

12

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1			人数が多いからもっと広くていいかも。	ご意見ありがとうございます。 安全面を確保して療育活動を検討して 参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11			1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1	4	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8			4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12				いつもちょっとした変化や出来事を伝えてくださり、よくみてくださると実感して感謝しております。	嬉しいご意見ありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				我が子のように、または身内の子のように接して下さり嬉しく思います。	嬉しいご意見ありがとうございます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2		1		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7		5		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11		1	事業所に着くといつも嬉しそうに笑顔になるので、いつも楽しく支援していただけているんだと感じています。	嬉しいご意見ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12			いつもありがとうございます。どのスタッフの方も笑顔で親切で子供も私たち親もとても感謝しております。これからもよろしくお願ひ致します。	ありがとうございます。ごちんこそ、今後ともよろしくお願ひいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスPrimo		公表日		2026年 3月 6日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	22	2	・場面転換がスムーズに行くように区切りをつけている点がいいと思う。オムツ交換の際に就学児と未就学児がいると仕切りが抜けている。 ・ベッドが簡易に移動できるとスペースがうまくまわれるので良いと思います。 ・オムツ交換などはマットなどを利用して視線に配慮している。 ・スペースいっぱいになる時もあるが、方向や場所、配置をその日の出勤メンバーで事前に相談している。	・バギーや車いす置き場が少ない点。 ・ドアなどは安全のために引き戸にしたほうが良い。 ・医ケア児をプリモ側に集めていることもあり、長期休暇中などはスペースが足りない時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	22	2	・配車の時間をずらして、一度にたくさん来所しないようにしている。 ・担当表を使用して、手薄になる時間等を前日に把握して担当変更等して対応する。	・保育士がたりない。 ・ナース勤務人数が3人～7人とばらつきがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	24			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24		・終了後の室内の清掃、日中の定期的な換気、空調の温度調整等丁寧に行えています。	・緑色マットの劣化が気になる。 ・浴室は特にカビやすい環境で、現在でも定期的にかび掃除を行っていますが、すぐにカビができるので1日の終わりにハイター消毒をすとか、拭きあげられる箇所は拭くなどの工夫が必要だと思います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	24			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	3		・スタッフに周知されていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	23	1		・仕組みを知らない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	2	・定例会を実施。	・面談などの機会が非常勤にもあって良いと思います。 ・決定事項を継続できていなかったり、特定スタッフしか知らない決定事項があつたりする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	22	2	・仕組みを知らない。	・仕組みを知らない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	24		・感染対策や避難訓練のシミュレーション、講習会など工夫されていると感じます。 ・定期的にも実施している。 ・研修案内がもう少しあつてもよいと思う。	・研修案内がもう少しあつてもよいと思う。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	1	・グループLINEでの共有。	・周知されていない。3.31
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	24			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	22	2		・スタッフ間で共有されてなく、またより具体策があると統一した支援ができそう。 ・非常勤なので個別の情報も含む全体の情報をリアルタイムで認識できていないことがある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	24				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24			・療育チームが中心となりできている。	・全スタッフへの周知があると尚良し。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24			・月毎、季節毎に行事やイベントを実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	24				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23	1			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24			・問題があれば行えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24				
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	24					
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	24				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	24				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24			・他園との交流。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1			・知らない。親が調整していると思っていた。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	23	1			・知らない。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	24		・近隣保育園とのイベント交流は、相互理解を深めるためにも一助を担っていると思われる。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	24			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	23	1		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	24			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	24			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23	1		・説明方法を知らない。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23	1		・行っている場面は見るが定期的かは知らない。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	21	3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	24			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	24		・インスタ良く上がってて、見ていて楽しい。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	24			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	5	・子どもたちの特性や健康状態を考えると、地域住民を招待することは難しいように感じますが、図書館へ出かけたり地域の方と触れ合う機会は設けて、今後も継続していけば、良い方向に転じていくこともあると思います。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24		・ノロ対策のシミュレーション。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	2		・訓練は未経験。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	24			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	24			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	23	1		・知らない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	1	・インシデントの共有はある。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	24		・接遇のオンライン講習会。		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	1		
----	--	----	---	--	--